

夜霧の恋人たち (1968)

BAISERS VOLES [仏]
STOLEN KISSES [米]メディア 映画
ジャンル ドラマ コメディ
製作国 フランス
色彩 Color
時間 101分
初公開日 1969/08/23
公開情報 U A
映倫 G
リバイバル 1996/07 [ヘラルド]

【解説】

「大人は判ってくれない」、「二十歳の恋」に続く、トリュフォーとレオの“アントワーヌ・ドワネル”シリーズの第3作。志願して兵役に就いたアントワーヌだが、素行不良で退役。恋人クリスティーヌの父の紹介でホテルの夜勤フロントとなるが、浮気の女性客の部屋に夫を入れてしまいクビに。まんまと私立探偵の策略に引っかかったわけだが、彼に同情され、探偵事務所に採用された。ところがここでも失敗を繰り返し、ようやくうまく行きかけた、店員に化けての靴屋の主人の周辺調査（自分が好かれているかどうか気になる主、直々の要請）で、こともあろうに依頼人の妻（美しいD・セイリグ）にのぼせてしまう。一方、つれない彼に腹を立てるクリスティーヌを尾ける、怪しい男の姿もあった……。恋愛をスリラーとして描くという、トリュフォーのモットーが、柔らかなユーモアを帯びて結実した、C・トレネの軽快なシャンソンに彩られた秀作。それぞれの“運命的な愛”に背を向けて、若い二人は結ばれることになるのだが……。以下は「家庭」、「逃げ去る恋」を参照のこと。

【クレジット】

監督 フランソワ・トリュフォー Francois Truffaut
脚本 フランソワ・トリュフォー Francois Truffaut
クロード・ド・ジヴレー Claude de Givray
ベルナール・ルボン
撮影 ドーニス・クレルバル
音楽 アントワーヌ・デュアメル Antoine Duhamel
出演 ジャン＝ピエール・レオ Jean-Pierre Leaud
クロード・ジャド Claude Jade
デルフィーヌ・セイリグ Delphine Seyrig
マリー＝フランス・ピジエ Marie-France Pisier
ミシェル・ロンズデーレ Michel Lonsdale